

図書館においてある本の中から
おすすめのものピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介します。

ボールコロゲテ スポーツの俳句 村井 康司 著



俳句は、世界でいちばん短い詩です。この本には、いろいろなスポーツの俳句が収録されています。

町立 鷹巣図書館 TEL0996-86-1111

町立 指江図書館 TEL0996-88-6500



としよかんライオン

ミシエル・ヌードセン 著

図書館には誰でも入れます。ライオンでも？ある日、町の図書館に大きなライオンが来まして、ライオンは、ライオンを守れるのでしょうか？

Pick Up publication

長島 文芸

ながしまぶんげい

明神俳句会

武家屋敷ゆらりと過ぐる黒揚羽
香水にただ一滴の力あり
湯上りの髪を束ねて初浴衣
声高に朝の体操半ズボン
半ズボン熊襲は深き毛を遺し
祖母が縫ひ母が洗ひし浴衣着る
夏盛り五体満足の嬰を抱く
停電となるもならぬも半ズボン
節電に浴衣をまとひ日暮どき
古浴衣箆の中昭和かな
下駄鳴らし浴衣姿の島娘

淵脇 護
竹内 功
関 佳代美
大堂 早苗
筑前 初市
中橋 藤七
山寄加代子
迫口 君代
二階堂恵子
二階堂妙子
大堂 正弘

長島短歌会

連日の暑さに耐へる亡夫の墓せめて冷水運びてか
ける
人絶へし庭に紫陽花咲き終へて今野牡丹の花咲き
盛る
一枚の赤紙に召されし兄偲ぶ吾も老ひたり終戦記
念日
九十年見飽かぬ入陽の感動にいつまでも見む今日
も佇み
強ひられて嫁ぎゆく姉の胸のなか夕食の椀に落と
す涙は
溪深く緑色なす黒部川白き砂州にも流れのありて
空と海茜に染めて沈みゆく夕日みとれり峠暮るる
まで
わが植ゑし緑のカーテン葉群より十六夜の月冴へ
るを眺む

吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代
櫻平 頼子
米尾 和子
坂之下典子
中山タマエ

創生短歌会

ゆらめきし藻をかきわけて海胆を獲りしわれ若き
日の夢を見てあつ
めぐり来る盆明け亡夫の七回忌娘は万端調へくる
る
磯浜に潮の満ち来る日暮れどき岩場に立ちてカサ
ゴ釣り上ぐ
台風を避けて港に船居らば海広々と波光るのみ
かき氷口に含みて爽やかに少女の頃の夏甦る

浜田美代子
林 ヒロ
本畑 幸子
松元 睦子

一般作品

陽の匂う洗いざらしの下着には元気を呉れる根元
がある
夕潮の上り来たれる小浜川濁る水面を跳ぬる魚あ
り
抗癌剤治療にその身保ちいる人は帽子をいくつも
持てり
生命保険勤めくれたる人死にてその後まもなく解
約をなす
七十を過ぎて己れの限界を知りしより夢を見るこ
とのなし
味噌仕込み終えし日の暮れおりに吾の体に麴
が匂う
初曾孫の女兒誕生の知らせにも離れ住むわれ実感
わかず

竹之内重信
村上 義彦
宮元 司
野村 益信
山下 学
石原百合子
大塚 洋子

「短歌」
我事は人は知らずと我知るや間違いなき我成す事や
外燈のあかりに浮かぶ五分咲の百日紅房柔らかに
ゆれ
「俳句」
台風去りゲリラ豪雨のあちこちに
立秋やまだ熊蟬の声盛ん

町田 末則
中仮屋辰子
宗方 清明
宗方 清明